

## 最新知財判例の読み方(初級の演習付)

～そもそも判例とは何か、知財判例はどう読み、どう実務に生かすのか分かり易く説明します～

**2019年6月11日(火) 10:00～17:00**

**講師** 角田 政芳 氏 東海大学総合社会科学研究所知財部門長・弁護士



◆ “判例が実務を支配する”といわれます。なぜでしょう？例えば、均等論は2要件と5要件のどれが適用されるのか、並行輸入はどのような要件で認められるのか、引用の要件は最高裁と知財高裁で違うが、どうすればよいのかなどは、判例を知らなければ対応できません。

◆ 誰もが、判例の重要性は理解していても、判決文は独特の構造と表現の上、読みにくい文章のため独学での習得は困難です。そして、多少のルールがあります。

◆ 本講座では、受講頂く皆様に、可能な範囲で、予め取り上げる予定の最新の重要判決文に目を通して頂いた上で(注)、講師に判決文の構造や読み方を丁寧に分かりやすく解説して頂き、実務に直ちに应用できるスキルと、深い理解力を身につけていただきます。

(注) お申込者様には、事前にEメールにて判決文を送信いたします。講義の約7～10日前に送信の予定です。

◇企業、大学、特許事務所、地方自治体等で知財の業務を担当される方、担当して1年～3年の方、無論、これから知財を本格的に学ばれる予定の方にも最適な講座です。

◇弁理士の皆様へ この研修は、日本弁理士会の継続研修として申請中です。本講座を受講し、所定の申請をすると、外部機関研修として5.5単位が認められる予定です。

◆日 時 2019年6月11日(火) 10:00～17:00

◆会 場 虎ノ門三丁目ビルディング1階 研修室 (東京都港区虎ノ門3丁目1-1)

◆定 員 40名

◆講 師 角田 政芳 氏 東海大学総合社会科学研究所知財部門長・弁護士

◆受講料 会員16,500円・一般19,000円 (※消費税8%込み)

◆申 込 FAXもしくは、HPからお申込下さい。(http://www.jiii.or.jp「知財 ist 研修・スポット講座他」)